

肝生検の検体採取量、偶発症に影響する項目の研究

1. 研究の対象

2019年1月～2023年12月に当院で超音波ガイド下経皮的肝生検を受けられた方。

2. 研究目的・方法

超音波ガイド下肝生検は慢性肝疾患や、肝腫瘍性病変の病理組織学的診断に重要な役割を果たします。近年、穿刺針の形状にも選択肢が増えてきています。生検針の形状や背景疾患により肝臓の組織の採取量や検査後の偶発症などに差があるか確認することを目的として本研究を行います。研究方法は当院で2019年1月1日から2023年12月31日までの期間に肝生検を行った方々の電子カルテの下記情報内容を確認し解析を行い当科として最適なアプローチ方法を検討します。

研究実施期間：研究実施許可日～ 2025年 3月 31日

利用を開始する予定日：2024年5月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、診断、既往歴、常用薬、血液検査データ、偶発症の有無 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：高橋 健一

秋田大学医学部附属病院消化器内科

TEL：018-884-6104 FAX：018-836-2611

E-mail：k.takahashi@med.akita-u.ac.jp

〒010-8543 秋田市本道1丁目1-1